

週間メッセージの流れ (2012.10.14.-10.20.)

RUTC時代の伝道者の生活の実現-文化征服(使徒1:1、2:1、3:1)、現場実現(ローマ16:25、26、27)

(1) 聖日1部(10月14日)→ まことの幸い(黙示1:1-3)

▲自らくびきを作っておいて、その中に入っている錯覚を発見して、まことの幸いを味わう証人として呼ばれたことを感謝します。もう錯覚を脱いでしまい、祈りの中で使徒ヨハネが受けた復活されたキリスト、オリブ山、五旬節の祝福を味わうようにさせてください。私の人生のパトモスが迫害や恐れではないことを知るようになさってください。キリストの権威と祝福を持ってくびきを脱ぐことができますように。今から霊的な目を開いて、みことば、御座、御使い、祈りの祝福の中で霊的問題が解決される力を得ることができますように。私の家庭、家系にまことの祝福が始まりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(10月14日)→ 神様の力を知る弟子たち(エペソ1:15-19)

▲私を神様の力を知る弟子として呼ばれたことを感謝します。キリストの奥義を知って、味わって、あかしする完全な祝福、天にある霊的な祝福、永遠な祝福の証人として勝利することができますように。キリストの弟子として、忠実な者らしく、奥義を持った者らしく、信仰の人、愛された人、祈る人になりますように。毎日、知恵と啓示の御霊を受けて、神様を分かるようにさせてください。心の目を開いて希望と栄光の豊かさを分かるようにさせてください。そして、毎日、信仰で神様の力を体験するようになってください。いま、使徒の働き1章1節、3節、8節の内に入りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(地域教材) (10月14日)→ みことば黙想の理由(詩119:11)

▲詩119:11節にみことばを心にたくわえなさいと言われていました。それなら、みことばを黙想する理由を分かなければならない。

- ①みことばを黙想するとき、私に刻印されたことが変わっていやしが起きる(深く黙想、暗唱)
- ②ところで、みことばの核心は福音だ。福音を黙想するとき、聖霊が働いて、御座の祝福が臨んで、世の中に勝つ権威が現れる。神の国が臨むのだ。
- ③そして、みことばを見るとき、霊的なことを見なければならぬ(Ⅲヨハネ1:2)。そうすれば、力を得るようになる。
- ④このとき、私も知らない間に私の仕事、現場、出会いいに答えを与えられる。
- ⑤聖書を見れば、神様のみことばを握って決断を下すとき、すばらしいみわざが始まる(ダニエル、エステル、使徒1:14)

(4) 首都圏伝道集会(10月16日)→

▲1講:まことのはじまり-集中祈り(使徒1:14、使徒12:1-25、Ⅱコリント12:1-10)

- ①序論-はやく自分の限界と、自ら作っておいて閉じ込められているくびきを発見して越えなければならない。このときから霊的問題が解決されて大きい答えが始まる。
- ②キリストで本当に答えを出す時と捨てることが見える。くびきをはやく抜け出しなさい。
- ③死を覚悟するほどキリストで決断すれば、暗やみが崩れて本当に答えがくる。
- ④そうしておいて、今はキリストで準備するのだ。24時祝福を味わいながら、使徒1:3、使徒1:14、使徒2:42節を捜し出すのだ。そうすれば、使徒2:9-11、使徒2:41、使徒6:7節の答えと唯一性の答えがき始める。
- ⑤結論-集中祈りを通して証拠を握りなさい(使徒1:14、使徒12:1-25、Ⅱコリント12:1-10)

▲2講:復興準備(使徒1:14)

- ①序論-一つ、使徒1:1、3、8節を味わえば良い。
- ②今から使徒1:14節を始めなさい(10日間-定刻、常時、24時祈りの中で)。そうすれば私の証拠が出てくるようになる。
- ③このとき、私個人に対する答え、教会の答え、職業に答えが出てくる。

④いよいよ高級人材に福音が入り始める。文化、政治、経済に影響を与え始め、散らされた者、隠された者、残った者が見え始める。

⑤結論-問題がくる時ごとに神様は100年の答えをくださる(20戦略)。それで、問題がくる時ごとにピリピ1:6、ピリピ2:13、ピリピ3:1-20、ピリピ4:13を握って味わいなさい。

▲現チーム:(首都圏)地域福音化3つの戦略

- ①序論-私が伝道に対する考えと祈りを継続するならば、伝道に対する確実な答えと絵が出てくる。そして、職業(学業、事業、職業)に祈りの課題が作られて、一生の祈りの課題、時間別祈りの課題、人別祈りの課題が出てくる。今は神様に向かって少しだけ集中すれば良い(方法-音楽、読書、運動、瞑想、黙想、呼吸...)このとき聖書に出てくる3つの戦略が見られる。
- ②3つの戦略の内容-使徒1:1-8、使徒1:14、礼拝の祝福
- ③3つの戦略の方法-伝達(マルコの屋上の間)、更新(アンテオケ教会)、世界(宣教)
- ④重要な漁場-落胆した者、人材、散らされた者
- ⑤結論-24時とは常に、どこでも、だれを通してでも、どんなことを通してでも味わうことをいう。

(5) 産業宣教(10月20日)→ いやし(家庭カウンセリング)専門家(ヨハネ3:1-16)

▲序論-五つに方向を定めなさい(外的いやし-生活、内的いやし-心、霊的いやし-不可能/福音にだけ可能、弟子いやし-現場専門性、教会いやし-教会専門性)。現在、教会は多様な専門性が欠如していて、福音専門性がないプログラムが多様化されている(多元論に行っている)。それで、私たちが福音専門性ある多様性の専門性に行ってこそ時代を生かせる。

- ①なぜなら、日が進むにつれ飢え渴いた人が多くなる。イエス様がその部分を触られた。
- ②霊的な解答がない。それで福音を持った者がカウンセリングいやしをするのが最も良い方法だ。
- ③もう実際的ないやしの方法も持たなければならぬ。
- ④結論-自ら作ったくびき、思考、宗教のために問題を受ける人が多い。福音を持ってこういう部分に対するカウンセリングが至急だ。

(6) 伝道学校(10月20日)→ 新しいキャンプ(使徒1:14)

- ①伝道学校-新しいキャンプ(使徒1:14)
 - ②重職者大学院-重職者中心の5つの開始
- ▲マルコの家、使徒2:9-11、使徒2:41-42、使徒2:43-47、ローマ16章
- ③地域伝道専門キャンプ-5つの祈りのはじまり
- ▲使徒2:1-13:1、使徒13:1-4、使徒16:6-16、使徒19:1-7、使徒28:30-31

(7) 核心訓練(10月20日)→ 副教役者(3)-未来教会(Ⅱテモテ2:1-7)

- ▲霊的問題を解決する方法、キリストで答えを出すのだ。このとき、7つの答えがくる(使徒1:1、使徒1:3、使徒1:8、使徒1:14、使徒2:1、使徒2:17、使徒2:41)
- ①体験-使徒1:14伝達、使徒11:19更新、使徒13:1世界(宣教)
 - ②姿勢-兵士(募集した者)、選手-規定(みことば)、農夫-先に
 - ③準備-家庭(涙)、キリスト(力)、時代、伝道者
 - ④結論-キリストの中にすべてがある。副教役者はキリストで答えを出しなさい。

(8) 地域教材(10月20日)→ みことばを生活の中に実践する伝道者(1テサロニケ2:13)